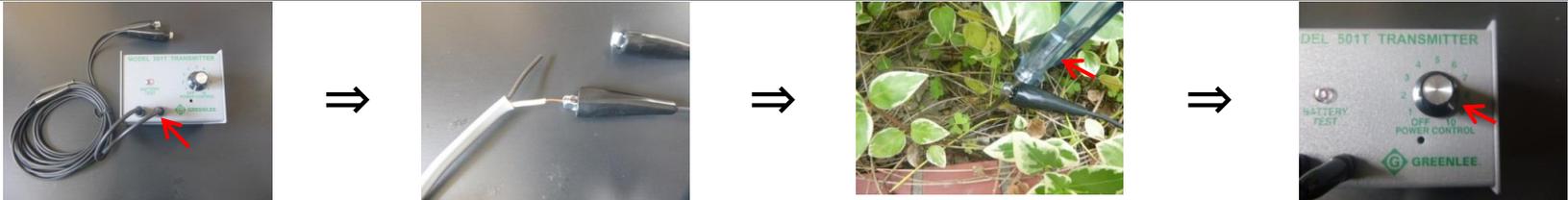
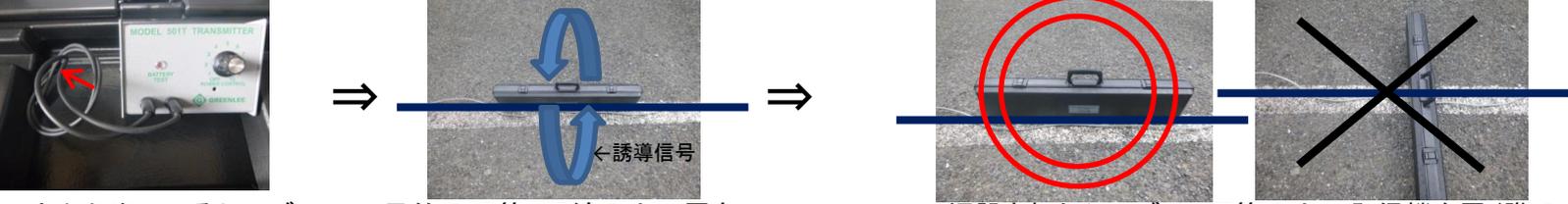


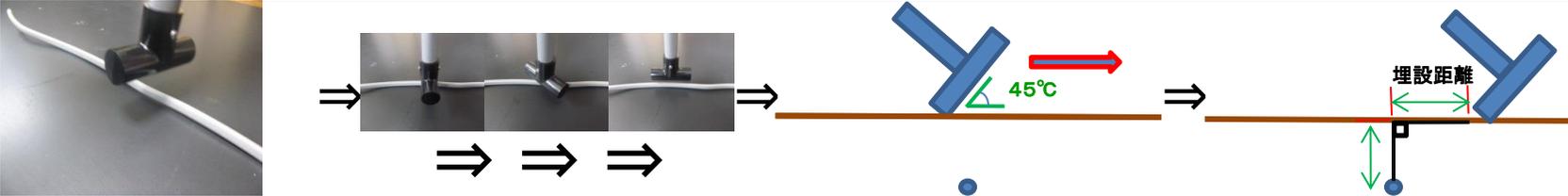
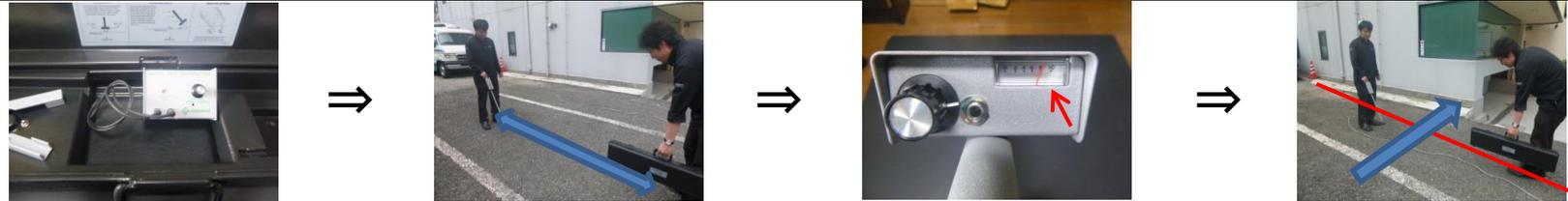
モデル501 取り扱い説明 ダイジェスト

送信機の設定方法

<p>直接法</p>	<p>・目的の配管/配線に直接接続する方法、最も探査確度の高い方法。</p>  <p>送信機に付属のクリップ付コードを接続します。 極性はありません。</p> <p>⇒</p> <p>一方のクリップを目的の導体に接続します。</p> <p>⇒</p> <p>もう一方を地中に挿したアース棒 地面が隣接していなければ分電盤 のアース部に接続します。</p> <p>⇒</p> <p>ボリュームスイッチを右に回し 電源を入れます。</p>
<p>クランプ法</p>	<p>・目的の配管/配線に非接触でクランプ送信する方法、被覆上から送信信号を送る為 高圧ケーブルに対応する。</p>  <p>送信機に付属のクランプを接続 します 極性はありません。</p> <p>⇒</p> <p>目的のケーブル・配管にクランプを 接続します。 ※クランプが開いていないか確認</p> <p>⇒</p> <p>送信機のボリュームスイッチを右に回し 電源を入れます。</p>
<p>間接法</p>	<p>・目的の配管/配線に誘導で信号を送る方法、配管/配線の露出部分がない場合や高圧ケーブルに対応</p>  <p>ケース内から出ているケーブルに 送信機を接続します(極性なし) 送信機の電源を入れ蓋を閉じます。</p> <p>⇒</p> <p>目的の配管/配線の上に置き 送信信号を送ります。 埋設物の半径1.5m以内に設置</p> <p>⇒</p> <p>埋設されたケーブル/配管の上に発信機を置く際の 発信機の向きに注意してください。 配管/配線と本体が平行になるように置きます。</p>

モデル501 取り扱い説明 ダイジェスト

受信機

<p>使用方法</p>	<p>・直接法/クランプ法/間接法 で送信した信号を受信機で受信します。</p>			
<p>埋設深度測定</p>	<p>埋設深度の測定</p>  <p>メーター指針から埋設配管/配線の直上を探索します。</p> <p>受信機の先端を時計の針のように回転させ感度の一番高い所を測定します ※受信機先端と十字になるように配管/配線が埋設されています</p> <p>受信機を45°傾けて押し込みます。上記のように移動した距離が埋設深度と等しくなります。この時、受信音が鳴り止むまでの距離を計測します。</p>			
<p>露出部分のない埋設調査</p>	<p>配管/配線の露出部分がない場合の探索方法</p>  <p>送信機を間接法にセットして電源をいれます。</p> <p>発信機と受信機を持つ二名が3~4メートル離れます。</p> <p>受信機の電源を入れて感度調整をします。 (メーターが8になるように調整)</p> <p>二名が平行に移動して受信機が反応した直下に配管/配線があります。 (90°方向を変えて縦・横と探索します)</p>			